

1. 事業の位置付け

事務事業名	博物館特別展事業		
事業担当	社会教育部 博物館		
予算科目	01-100504-010000	事業種類	○ ハード ● ソフト
総合計画の位置付け	01	基本目標1 豊かな心をはぐくみ、よろこびとふれあいにあふれたまち	
	02	②〈感性〉 生涯学習や文化などを通じ、豊かな感性をはぐくむ	
	02	2 優れた芸術・文化を鑑賞する機会を充実する	
根拠法令等			
対象・受益者	市民	事業期間	
委託、協働	【委託： <input type="checkbox"/> 3セク・財団 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> NPO <input type="checkbox"/> その他】 【協働： 館事業参加市民】		
目的・目標		事業の概要	
学芸員の研究成果が特別展で公開され、市民の知的共有財産となっています。		学芸員が収集・調査・研究した成果を市民の知的共有財産とするため、特別展を開催し、その成果を分かりやすく具体的に展示します。	

2. 事業の検証

活動指標①	指標名	特別展開催日数						単位	日
	説明・算定式	夏期・秋期・春期特別展、企画展、博物館まつりの開催日数							
		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
	目標実績			138	150	150			
活動指標②	指標名	特別展関連事業開催日数						単位	日
	説明・算定式	期間中の講演会・見学会等							
		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
	目標実績			13	20	20			
成果指標①	指標名	特別展開催期間中の入館者数						単位	人
	説明・算定式	-							
		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
	目標実績			37,000	37,000	39,000			
成果指標②	指標名	図録売上部数						単位	部
	説明・算定式	-							
		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
	目標実績			500	550	600			
進捗状況	①：予定どおり								
	遅れている理由								
平成19年度の主な取組と成果									
特別展は開館以来年3回開催しているが、平成19年度は企画展を1つ追加開催した。企画展「科博コラボミュージアム in 平塚ー今年のはうるう年」は国立科学博物館理工学部門と共同で実施した。「博物館まつり」は博物館で活動している各サークルの1年間の活動成果を展示し、発表会を行った。これらにより特別展事業の充実を図ることができた。									
平成19年度の検証結果	A：成果があがった								

事業分析	項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズ <input checked="" type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input checked="" type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	博物館で進めた調査研究、市民との協働による調査の成果をいち早く市民に公表する。また、博物館まつりは博物館事業に参加する市民が企画運営することで満足度を高くするものであり、必要性が高い。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	有効性	<input type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input checked="" type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input checked="" type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	特別展は日常の調査や資料収集活動を市民と協働して実施した成果発表の場であり、市民の関心も高い。継続することで地域情報の蓄積がなされる。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	博物館で進めた調査研究、市民との協働による調査の成果を踏まえ、市民に地域の資料などを展示し、観察会、体験学習、講座などを行うことは、地域博物館の使命に合致する。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低
	効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input type="checkbox"/> その他	調査資料の整理、写真データの保存等に館独自のシステムを構築し、活用している。データ入力などは市民と協働で進めていることもあり、かなりのコスト削減を進めている。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低
今後に向けた課題の分析		博物館が市民と協働で実施している調査活動成果を公表するために、今後も特別展事業の充実は欠かせないと考える。		

3. 年度別事業内容・事業費

(単位：千円)

		平成17年度 決算額	平成18年度 決算額	平成19年度 決算額	平成20年度 予算額	平成21年度 計画額	平成22年度 計画額	平成23年度 計画額
事業内容				「平塚の地盤展」などの特別展の開催	「金目川展」などの特別展の開催	「相模川の水運展」などの特別展の開催		
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0	0	0
	起債	0	0	0	0	0	0	0
	その他 特財	0	0	1,933	1,198	1,228	0	0
	一般財源	0	0	6,259	5,917	6,700	0	0
事業費 (A)		0	0	8,192	7,115	7,928	0	0
執行率 (%)		0.00	0.00	108.12				
内訳	職員 (人)	0.00	0.00	0.85	0.85	0.85	0.00	0.00
	再任用 (人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
人件費 (B)		0	0	7,133	7,133	7,133	0	0
フルコスト (A+B)		0	0	15,325	14,248	15,061	0	0

4. 今後の事業展開 (担当課としての提案)

平成21年度の事業の方向性	
<input checked="" type="radio"/> 現状の規模で継続 <input type="radio"/> 拡大して継続 <input type="radio"/> 縮小して継続 <input type="radio"/> 廃止 <input type="radio"/> 休止 <input type="radio"/> 終了 <input type="radio"/> 他事業と統合	
<判断理由> 博物館が市民と協働で実施している調査活動成果を公表するために、今後も特別展事業の充実は欠かせないと考える。	
平成21年度取組方針	
特別展の外注部分である図録、ポスターなどの印刷の編集作業部分は職員がやっており、これ以上の削減は難しい環境にあるが、使いやすいソフトの購入などでかかる時間数などの改善を図る。	
課長コメント	特別展事業を通して、様々な情報を発信し、その情報を市民と共有することによって、魅力あるまちづくりに寄与できるものと考えます。